

平成 30 年 2 月 9 日

各 位

東京都港区六本木六丁目 8 番 10 号
会社名 株式会社モブキャスト
代表者名 代表取締役社長 藪 考 樹
(コード番号：3664 東証マザーズ)
問合せ先 取締役CFO 管理本部長 佐 武 利 治
(TEL.03 - 5414 - 6830)

**営業外収益（為替差益）、営業外費用（持分法による投資損失）、特別利益（持分変動利益）、
特別損失（減損損失）及び通期業績の前期実績値との差異に関するお知らせ**

当社は平成29年12月期の決算において、営業外収益（為替差益）、営業外費用（持分法による投資損失）、特別利益（持分変動利益）及び特別損失（減損損失）を計上することとなりましたのでお知らせいたします。また、平成29年12月通期業績（以下、「当期実績」といいます。）と平成28年12月期通期業績（以下「前期実績」といいます。）において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上について

当社グループが保有する外貨建て債権債務を平成29年12月期末の為替レートで評価したこと等により、為替差益12,470千円を計上いたしました。

2. 営業外損失（持分法による投資損失）の計上について

当社グループが株式を保有している持分法適用関連会社 2 社につきまして、当連結累計期間における損益を取り込んだことにより、持分法による投資損失20,222千円を計上いたしました。

3. 特別利益（持分法変動利益）の計上について

平成29年12月期第 4 四半期連結会計期間において、当社グループの持分法適用関連会社であるレトロワグラーズ株式会社が第三者割当による時価発行増資を実施したことにより、同社への投資に係る持分変動差額について持分法変動利益40,296千円を計上いたしました。

4. 特別損失（減損損失）の計上について

当社のゲーム事業において、成果の高いパートナー企業との共同開発を中心とする共同開発戦略への転換に伴いゲームに係るソフトウェア資産の投資回収見込みを改めて検討し、減損損失157,045千円を計上いたしました。

5. 当期実績と前期実績との差異

1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	3,097	▲222	▲234	▲333	▲22.61
当期実績 (B)	3,302	▲1,218	▲1,242	▲1,345	▲82.85
増減額 (B - A)	205	▲996	▲1,007	▲1,012	—
増減率 (%)	6.6%	—	—	—	—

2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	3,097	▲217	▲197	▲319	▲21.69
当期実績 (B)	3,300	▲1,213	▲1,216	▲1,353	▲83.35
増減額 (B - A)	203	▲996	▲1,018	▲1,033	—
増減率 (%)	6.6%	—	—	—	—

3) 差異の理由

平成29年12月期の実績（連結及び個別）につきましては、海外パートナー企業との共同開発による新作タイトル「モバサカ CHAMPIONS MANAGER」中国版及び日本版、また、自社開発タイトル「モバプロ2 レジェンド」の配信を開始し、これらの新規タイトルの売上が寄与し売上高は前連結会計年度比6.6%増となる3,302,332千円となりました。

その一方で、前期に引き続き運営人員のコスト削減等に努めたものの、共同開発タイトルの配信開始による支払ロイヤリティの増加、新作タイトルの投入によるテレビCMをはじめとする広告宣伝費、

減価償却費等の増加により、営業損失は1,218,732千円(前連結会計年度の営業損失は222,630千円)となりました。また、上記1. 及び2. で記載したとおり、営業外収益として為替差益12,470千円、営業外費用として持分法による投資損失20,222千円等を計上したことにより経常損失1,242,048千円、さらに、上記3. 及び4. で記載したとおり、特別利益として持分法変動利益40,296千円、特別損失として減損損失157,045千円等を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は1,345,433千円(前連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純損失は333,178千円)となりました。

以 上